

# 女性の生きづらさの正体

## ～貧困の構造を知り、解決策を探る～

働く女性の約半数が非正規雇用である問題（※1）、家事労働ハラスメント（※2）など、女性を貧困に陥れやすい社会の構造の根っこにあるものは、何なのか？その正体を知り、誰もが生きやすい働き方、暮らし方を探ります。



日時

8/22 (土) 13:30～15:30

会場

埼玉県男女共同参画推進センター  
(With You さいたま) 4階セミナー室

定員 50名

参加費 無料

保育あり 要予約

講師

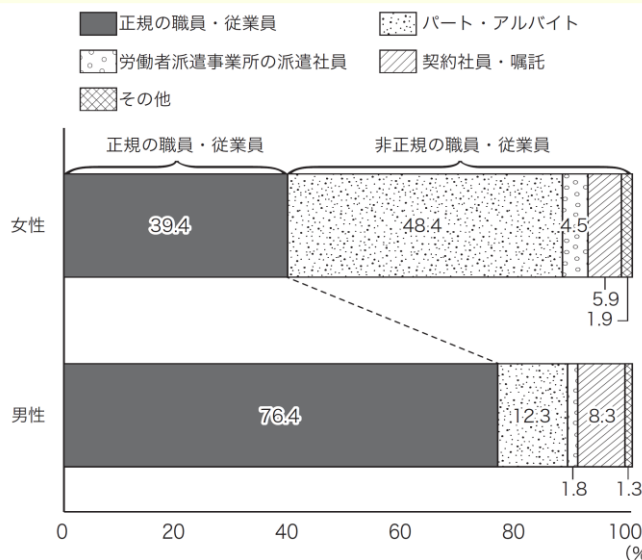
たけのぶ みえこ

### 竹信三恵子さん

ジャーナリスト・和光大学名誉教授  
【プロフィール】

1976年、朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学現代人間学部教授などを経て、2019年4月から同大名誉教授。2009年、貧困ジャーナリズム大賞。著書に『家事労働ハラスメント～生きづらさの根にあるもの』（岩波新書）など。近著に『企業ファースト化する日本～虚妄の＜働き方改革＞を問う』（岩波書店）。

（※1）女性の雇用者に占める非正規雇用者の割合



※ 総務省「平成29年就業構造基本調査」より。

（※2）家事労働ハラスメント

日々の食事を用意し、子どもや高齢者をケアするといった労働、「家事労働」。これを担う人々は、十分に外で働けないため、経済力や発言力を奪われがちな状態が続いています。これが、「家事労働ハラスメント」（家事ハラ）です。



竹信三恵子さんの著書など講演会に関連した図書を展示します。

期間: 8/3(月)~8/29(金)

場所: 3階情報ライブラリー

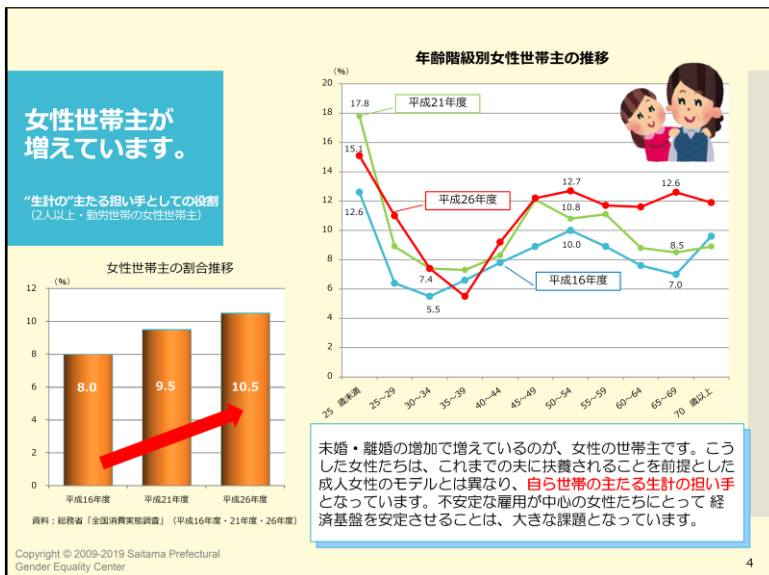


## パネル展示

With You さいたまが作成した男女共同参画を理解するための啓発パネルの展示を行います。

### 統計に見る女性の「仕事」と「生活」のいま

期間: 8/3(月)~8/22(土) 場所: 4階活動発表コーナー



未婚・離婚の増加で増えているのが、女性の世帯主です。こうした女性たちは、これまでの夫に扶養されることを前提とした成人女性のモデルとは異なり、**自ら世帯の主たる生計の担い手**となっています。不安定な雇用が中心の女性たちにとって、**経済基盤を安定させることは、大きな課題**となっています。

### 申込み方法

電話・FAX・電子メール ([m013111f@pref.saitama.lg.jp](mailto:m013111f@pref.saitama.lg.jp)) で、

①~⑤を明記の上、お申し込みください。

- ①講座名「貧困問題講演会」
- ②氏名(ふりがな)
- ③住所(市町村名、さいたま市の方は区まで)
- ④連絡先電話番号
- ⑤保育希望の有無

### 保育について

6か月以上の小学校3年生までのお子様をお預かりします。

保育料: お子様一人につき300円

定員: 15名(申込順)

保育申込締切: 8/14(金)

お子様の名前(ふりがな)・年齢(月齢)・アレルギーの有無をお知らせください。

### 申込み・お問合せ先

埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2

ホテルブリランテ武蔵野3・4階

電話 048-601-3111

E-mail [m013111f@pref.saitama.lg.jp](mailto:m013111f@pref.saitama.lg.jp)

ホームページ With You さいたま

検索



- JRさいたま新都心駅より 徒歩5分
- JR北与野駅より 徒歩6分

※新型コロナウイルス感染症の関連で必要が生じた場合、来館者の方の名簿を関係機関に提供する場合がありますので、御了承ください。